



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社横河ブリッジホールディングス
 コード番号 5911 URL <http://www.ybhd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 久司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務IR室長 (氏名) 宮本 英典 TEL 03-3453-4116
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	101,580	△5.1	8,935	4.2	9,110	4.2	6,092	12.1
2019年3月期第3四半期	107,093	18.3	8,572	6.9	8,746	6.9	5,436	0.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 6,211百万円 (46.6%) 2019年3月期第3四半期 4,235百万円 (△49.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	147.27	—
2019年3月期第3四半期	131.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	152,847	91,463	58.2	2,149.60
2019年3月期	149,695	86,583	56.3	2,037.61

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 88,985百万円 2019年3月期 84,265百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	13.00	—	17.00	30.00
2020年3月期	—	17.00	—		
2020年3月期 (予想)				20.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2020年1月29日）公表いたしました「期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	142,000	0.1	12,000	14.2	12,000	12.6	8,400	11.5	203.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	45,564,802株	2019年3月期	45,564,802株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	4,168,728株	2019年3月期	4,209,836株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	41,372,856株	2019年3月期3Q	41,326,152株

(注)自己株式数には、「従業員持株会専用信託」の信託財産として所有する当社株式および「役員向け株式交付信託」の信託財産として所有する当社株式を含めて記載しております。

(2020年3月期第3四半期末 60,000株、2019年3月期末 101,400株)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
売上高、受注高及び受注残高(連結)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①受注高

橋梁事業につきましては、当期は大型新設工事の発注量が少なく、引続き厳しい受注環境が続いております。

このような中、当社グループは当第3四半期(2019年10月1日～2019年12月31日)において、関東地方整備局・潮来佐原線橋、東扇島水江町線主橋梁などの大型工事の受注ができました他、地方自治体案件、保全工事などの受注を重ねました結果、当第3四半期累計期間(2019年4月1日～2019年12月31日)における橋梁事業の受注高は537億3千万円(前年同期比15.4%減)となりました。これは年度計画に対し約9割の達成となります。

エンジニアリング関連事業の受注につきましては、一部案件の契約の遅れ・着工の延期などにより全体的に伸び悩みました。受注高は376億3千万円(同14.0%減)となり、年度計画に対する達成率は6割程度と、やや物足りない状況です。第4四半期においては年度計画の達成に向け、システム建築事業の確実な回復並びに土木関連事業・建築機鉄事業の大型案件の受注に注力してまいります。

先端技術事業につきましては、精密機器製造事業の需要が伸び悩みましたため受注高は23億5千万円(同28.6%減)と減少いたしました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期累計期間における受注高は937億円2千万円(同15.3%減)となりました。

②経営成績

当社グループの当第3四半期累計期間における売上高は1,015億8千万円(前年同期比5.1%減)となり、前年同期に次ぐ過去2番目の水準となりました。

利益につきましては営業利益は89億3千万円(同4.2%増)、経常利益は91億1千万円(同4.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は60億9千万円(同12.1%増)となり、それぞれ第3四半期累計期間としての過去最高を更新いたしました。以下事業別に記載いたします。

(橋梁事業)

橋梁事業につきましては、概ね順調に推移し、売上高は590億8千万円(前年同期比8.6%増)と前年同期を上回り、工事損失引当金の順当な減少により営業利益も63億4千万円(同21.2%増)となり、第3四半期累計期間として過去最高の業績となりました。

(エンジニアリング関連事業)

エンジニアリング関連事業につきましては、当第3四半期(10月～12月)においてシステム建築事業の採算が大きく改善しました。そのため当第3四半期累計期間の業績は、売上高は396億4千万円(前年同期比18.8%減)、営業利益は29億2千万円(同10.5%減)となり、減益幅が縮小しました。

(先端技術事業)

先端技術事業につきましては、受注の減少により売上高は23億3千万円(前年同期比29.8%減)、営業利益は2億6千万円(同57.0%減)と何れも前年同期を下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ31億5千万円増加し、1,528億4千万円となりました。流動資産は、「現金預金」が減少し、「受取手形・完成工事未収入金等」が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ34億円減少しました。一方、固定資産は、主に設備投資として有形固定資産が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ65億5千万円増加しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ17億2千万円減少し、613億8千万円となりました。これは主に、「支払手形・工事未払金等」が増加し、「工事損失引当金」が減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ48億8千万円増加し、914億6千万円となりました。これは主に、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を計上したことによるものです。この結果、自己資本比率は58.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高につきましては橋梁事業とシステム建築事業の工事の進捗などを加味し精査しました結果、前回予想(2019年10月28日発表)を下回る見込みとなりました。一方、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、橋梁事業の損益改善が進んだため、前回予想を上回る見込みとなりました。以上のことから、通期の業績予想を下記の通り修正いたします。

また、期末配当予想につきましては、従来の1株当たり17円から20円に変更いたしました。詳細は本日発表の「期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2020年3月期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2019年10月28日発表)	146,000	11,200	11,200	7,800	188.50
今回修正予想(B)	142,000	12,000	12,000	8,400	203.00
増減額(B)-(A)	△4,000	800	800	600	—
増減率(%)	△2.7	7.1	7.1	7.7	—
(ご参考) 前年同期実績 (2019年3月期)	141,924	10,509	10,654	7,536	182.33

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	23,444	11,286
受取手形・完成工事未収入金等	66,508	74,813
有価証券	1,000	—
たな卸資産	1,787	2,623
その他	1,443	2,053
貸倒引当金	△3	△1
流動資産合計	94,180	90,773
固定資産		
有形固定資産		
土地	13,564	15,220
その他(純額)	16,320	20,984
有形固定資産合計	29,884	36,204
無形固定資産	953	1,073
投資その他の資産		
投資有価証券	17,650	17,682
その他	7,026	7,113
投資その他の資産合計	24,676	24,795
固定資産合計	55,514	62,074
資産合計	149,695	152,847

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	21,424	22,578
短期借入金	1,000	—
1年内償還予定の社債	2,300	100
1年内返済予定の長期借入金	5,900	3,000
未払法人税等	1,563	1,364
未成工事受入金	1,986	2,249
工事損失引当金	6,216	4,366
賞与引当金	2,408	1,522
事故関連損失引当金	439	218
その他の引当金	191	87
その他	1,927	2,413
流動負債合計	45,358	37,901
固定負債		
社債	50	2,300
長期借入金	3,371	6,500
役員退職慰労引当金	563	594
株式報酬引当金	20	40
退職給付に係る負債	10,960	11,281
その他	2,788	2,764
固定負債合計	17,754	23,482
負債合計	63,112	61,384
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,435	9,435
資本剰余金	10,185	10,185
利益剰余金	61,997	66,680
自己株式	△3,693	△3,612
株主資本合計	77,924	82,688
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,181	6,136
土地再評価差額金	159	159
その他の包括利益累計額合計	6,341	6,296
非支配株主持分	2,317	2,478
純資産合計	86,583	91,463
負債純資産合計	149,695	152,847

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	107,093	101,580
売上原価	92,460	86,373
売上総利益	14,633	15,207
販売費及び一般管理費	6,060	6,271
営業利益	8,572	8,935
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	328	284
持分法による投資利益	20	31
その他	76	72
営業外収益合計	425	389
営業外費用		
支払利息	51	67
有価証券売却損	26	—
コミットメントフィー	67	15
前受金保証料	38	45
団体定期保険料	50	47
その他	16	38
営業外費用合計	251	214
経常利益	8,746	9,110
特別利益		
固定資産売却益	3	9
受取保険金	1	93
その他	—	0
特別利益合計	4	103
特別損失		
固定資産処分損	18	3
投資有価証券評価損	163	—
関係会社株式評価損	—	22
災害による損失	300	72
その他	2	—
特別損失合計	483	98
税金等調整前四半期純利益	8,267	9,115
法人税等	2,577	2,859
四半期純利益	5,689	6,255
非支配株主に帰属する四半期純利益	253	162
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,436	6,092

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	5,689	6,255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,454	△44
その他の包括利益合計	△1,454	△44
四半期包括利益	4,235	6,211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,982	6,048
非支配株主に係る四半期包括利益	253	162

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	橋梁事業	エンジニア リング関連 事業	先端技術 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	54,428	48,816	3,327	521	107,093	—	107,093
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	54,428	48,816	3,327	521	107,093	—	107,093
セグメント利益	5,234	3,270	612	319	9,437	△864	8,572

(注) 1. セグメント利益の調整額△864百万円は、全社費用等であり、主に当社の総務・人事・経理部門等の管理部門に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	橋梁事業	エンジニア リング関連 事業	先端技術 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	59,082	39,643	2,335	518	101,580	—	101,580
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	59,082	39,643	2,335	518	101,580	—	101,580
セグメント利益	6,343	2,926	263	300	9,833	△897	8,935

(注) 1. セグメント利益の調整額△897百万円は、全社費用等であり、主に当社の総務・人事・経理部門等の管理部門に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3. その他

売上高、受注高及び受注残高(連結)

期 別		前第3四半期 連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	増 減 (△印は減)	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
区 分		金 額(百万円)	金 額(百万円)	金 額(百万円)	金 額(百万円)
売上高	橋梁事業	54,428	59,082	4,653	73,396
	エンジニアリング関連事業	48,816	39,643	△9,173	63,395
	先端技術事業	3,327	2,335	△991	4,442
	不動産事業	521	518	△2	691
	合 計	107,093	101,580	△5,513	141,924
受注高	橋梁事業	63,549	53,738	△9,811	91,743
	エンジニアリング関連事業	43,765	37,634	△6,131	57,305
	先端技術事業	3,291	2,350	△940	4,197
	合 計	110,606	93,723	△16,883	153,245
受注残高	橋梁事業	104,141	108,022	3,881	113,367
	エンジニアリング関連事業	46,595	43,548	△3,047	45,557
	先端技術事業	1,256	1,061	△194	1,047
	合 計	151,993	152,633	639	159,971

(注) 売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を除いた金額です。